

市町村名	沖縄市						
平成 2 5 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-	道路景観形成推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部課名	建設部 道路課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
						-1-(1)	
事業内容	観光地周辺の道路の快適性の向上や安全性の確保のため、道路の植栽整備設計をはじめ、街路樹の剪定や道路鈹の設置工事、道路照明器具の整備等をおこなう。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)	26年度
	予算の状況	(a)当初予算額	37,533	-	59,261	-	
		(b)予算現額	34,665	-	59,166	-	
		(c)増減額(b-a)	▲ 2,868	-	▲ 95	-	
		(d)繰越額	-	15,367	-	16,265	
		A. 計(b+d)	34,665	15,367	59,166	16,265	
	B. 執行済額		19,298	15,341	41,779	13,804	
	うち交付金充当額		15,438	12,272	33,422	11,043	
	次年度繰越額		15,367	0	16,265	0	
	執行率(%) (B/A)		55.7%	99.8%	70.6%	84.9%	
予算の状況の説明		・道路植栽等整備において、地元自治会からの整備要請に基づき整備内容の検討に時間を要したため、工事着手が遅れ16,265千円を繰越した。また、競争入札による入札残で、不用額2,461千円が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	沿道美化業務:L=13,000m 道路植栽等整備実施設計	目 標	(20路線)	(L=13,000m 2路線)			
		実 績	20路線	L=5,810m 2路線			
	照明灯LED化:取替10基、新設4基 道路植栽等整備:2路線	目 標	()	(取替10基、新設4基 2路線)			
		実 績		取替10基、新設4基 1路線			
達成状況説明	道路植栽等整備において、整備内容の検討により工事費が増加し実施路線の減少が生じた。また沿道美化業務において、樹木の生育状況などにより、実施路線の見直しを行ったこと、また現地踏査による樹木の枝葉生育状況を加味した選定を行ったため剪定本数が減となったことにより実施延長が減少した。 道路植栽等実施設計、照明灯LED化については、当初の目標通り道路植栽等実施設計2路線、照明灯LED化取替10基、新設4基を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	沿道美化業務:L=13,000m 道路植栽等整備実施設計	目 標	()	(-)	(L=13,000m 2路線)		()
		実 績		-	L=5,810m 2路線		
	照明灯LED化:取替10基、新設4基 道路植栽等整備:2路線	目 標	()	(-)	(取替10基、新設4基 2路線)		()
		実 績		-	取替10基、新設4基 1路線		
	進捗状況説明	道路植栽等整備において、整備内容の検討により工事費が増加し実施路線の減少が生じた。また沿道美化業務において、樹木の生育状況などにより、実施路線の見直しを行ったこと、また現地踏査による樹木の枝葉生育状況を加味した選定を行ったため剪定本数が減となったことにより実施延長が減少した。 道路植栽等実施設計、照明灯LED化については、当初の目標通り道路植栽等実施設計2路線、照明灯LED化取替10基、新設4基を実施した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) 道路交通環境改善整備工事において、観光施設のリニューアルオープンもあり地元自治会からカラー舗装化の要請があったため、整備内容の検討に時間を要し、繰越事業となってしまった。今後は、早期に地元自治会と調整し、整備内容の検討を進めていく必要がある。 本事業は市内観光地へのアクセス道路および中心市街地内の道路において、快適性の向上や安全性の確保を図ることにより、観光地としての基盤整備を行うものである。今後も整備計画に基づき対象路線の整備を順次行い、継続して対象路線の整備に取り組むことで観光振興に寄与することができる。	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) 道路植栽等整備計画に基づく路線ごとの実施設計においては、各路線沿線の自治会の意見聴取や住民との意見交換を密に行い、観光に寄与する事業として整備内容の詳細な検討を行う。
	今後の取り組み方針 基本計画に基づく路線ごとの実施設計時には、工事着手にスムーズに移行できるよう、地元自治会や地域住民との調整を密に行う。 観光都市として観光地周辺の道路の快適性の向上や安全性の確保に向け、沿線美化をはじめ、道路植栽等整備、道路照明灯LED化を継続的に行う。	

					総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
					55,583	55,583	44,465	11,118	0


```

graph LR
    A[沖縄市  
55,582千円] --> B[委託費  
25,098千円]
    A --> C[工事請負費  
30,483千円]
    B --> D["(有)グリーンスタッフ  
9,722千円"]
    B --> E["(有)緑建  
8,472千円"]
    B --> F["PITコンサルタント  
3,675千円"]
    B --> G["KOZA企画  
3,150千円"]
    B --> H["一般財団法人経済調査会沖縄支部  
78千円"]
    C --> I["(有)真技建  
22,540千円"]
    C --> J["章電設  
5,596千円"]
    C --> K["(有)仲田電設  
2,346千円"]
    D --- L["市道沿線環境美化業務委託  
(その1)"]
    E --- M["市道沿線環境美化業務委託  
(その2)"]
    F --- N["市営球場線道路植栽等整備  
実施設計業務委託"]
    G --- O["山内小学校西側線道路植栽等整備  
実施設計業務委託"]
    H --- P["道路景観形成推進事業  
特別調査業務委託"]
    I --- Q["登川2号線道路交通環境改善整備工事"]
    J --- R["道路照明灯具取替工事"]
    K --- S["(道路景観形成推進事業)  
道路照明施設設置工事(その2)"]
  
```


資金の 使途の 流れ、 費目、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受託者は、指名競争入札により決定しており妥当である と考える。 ○委託業務費の積算については、積算歩掛け等により適正 に行っている。 ○費目・使途については、業務完了後に支出等に関する書 面により確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	沖縄市						
平成 2 5 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-	観光地周辺道路整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部課名	建設部 道路課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
						-1-(1)	
事業内容	観光地周辺の道路の快適性の向上や安全性の確保のため、歩行空間の整備をはじめ、観光地の各種案内サイン、ゲートモニュメント、ストリートファニチャー、横断防止柵等の整備等をおこなう。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度
	予算の状況	(a)当初予算額	26,334	110,102	-		
		(b)予算現額	26,334	225,102	-		
		(c)増減額(b-a)	0	115,000	-		
		(d)繰越額	-	219,818	219,818		
		A.計(b+d)	26,334	444,920	219,818		
		B.執行済額		26,334	5,282	214,386	
		うち交付金充当額		21,067	4,225	171,509	
		次年度繰越額		0	219,818	0	
		執行率(%) (B/A)		100.0%	1.2%	97.5%	
	予算の状況の説明		設計段階において、関係機関との調整に時間を要した為、工事費(219,818千円)を繰越して事業完了した。競争入札による入札残で、不用額5,432千円が生じた。				
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	道路整備実施設計 モニュメントゲート 1基	目 標	(-)	(計 モニュメントゲート 1基)	()	()	
		実 績	-	未実施 モニュメントゲート 1基			
	歩道照明 64基 横断防止柵設置 L=1,990m	目 標	(-)	(歩道照明 64基 横断防止柵設置 L=1,990m)	()	()	
		実 績	-	歩道照明灯 58基 横断防止柵L=1,550m			
達成状況説明	・道路整備実施設計は、別事業での実施が可能になった為、当事業では実施していない。 ・道路照明は、当初64基を予定していたが、実施設計にて照度や配置等について検討した結果58基に変更になった。 ・横断防止柵は、実施設計にて設置箇所の検討を行った結果、当初1,990mを予定していたが1,550mに減少した。 (市道中央公園線(沖縄こどもの国駐車場隣接箇所)の既存防護柵が利用可能であった為) ・観光地周辺道路を整備するにあたり、市道中央公園線の既存スペースに案内板の設置と擁壁を活用した壁面サインの整備が可能であることから、新たに整備を行った。 ・当該事業は、当初平成25年度設置完了を目標に設計から工事までを予定していたが、設計段階において関係機関との調整に時間を要したことから、工事費全額を繰越して平成26年度に整備完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	道路整備実施設計 モニュメントゲート 1基	目 標	()	(-)	(道路整備実施設計 モニュメントゲート 1基)	()	()
		実 績		-	未実施 モニュメントゲート 1基		
	歩道照明 64基 横断防止柵設置 L=1,990m	目 標	()	(-)	(歩道照明 64基 横断防止柵設置 L=1,990m)	()	()
		実 績		-	歩道照明灯58基 横断防止柵L=1,550m		
	進捗状況説明	・道路整備実施設計は、別事業での実施が可能になった為、当事業では実施していない。 ・道路照明は、当初64基を予定していたが、実施設計にて照度や配置等について検討した結果58基に変更になった。 ・横断防止柵は、実施設計にて設置箇所の検討を行った結果、当初1,990mを予定していたが1,550mに減少した。 (市道中央公園線(沖縄こどもの国駐車場隣接箇所)の既存防護柵が利用可能であった為) ・観光地周辺道路を整備するにあたり、市道中央公園線の既存スペースに案内板の設置と擁壁を活用した壁面サインの整備が可能であることから、新たに整備を行った。 ・当該事業は、当初平成25年度設置完了を目標に設計から工事までを予定していたが、設計段階において関係機関との調整に時間を要したことから、工事費全額を繰越して平成26年度に整備完了した。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化) ・平成25年度の整備計画において、早期整備を目標に設計業務から工事までを予定していた。しかし、関係機関との調整に時間を要したために工事費を繰り越して平成26年度に事業を完了した。 ・主な関係機関との調整内容として、モニュメントゲートにおけるゲート設置高を決定するにあたり、沖縄県警と安全性を考慮した信号機の視認性を確保する検討する上で、模型を作成して確認するなど検討に時間を要した。 ・観光地に資する整備が目的であることから、関係機関等の調整が必要。	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点) ・関係機関との調整に時間を要した為に工事を繰越して完了したことをから、十分な調整時間を含んだ設計期間を確保する必要がある。今後は設計、工事の年度を分けて実施する。 ・目標値を想定値で設定していたことから実施設計により数値の変動があったので目標設定方法を改善する。 ・周辺自治会及び関係機関の調整等を行い、観光に資する整備を行う。
	今後の取り組み方針 ・市道総合グラウンド通り線は、本市の中心市街地における主要施設であるコザ・ミュージックタウンとコザ運動公園を結ぶ道路であるとともに、沖縄自動車道沖縄南インターチェンジに隣接しており、市外及び県外の観光客等の中心市街地へのアクセス道路としても重要な路線である。その為、歩道部に照明灯の設置および本市をアピールできる案内板等のサイン整備の検討を行い、観光地周辺道路の快適性や安全性、回遊性の確保を行う。 ・H27年度は、沿線自治会や関係部署との調整を密に行い観光客等に本市をアピールできるように整備検討する実施設計を行い、快適な歩行空間の創出を図る。 ・H28年度は、実施設計で検討された内容を工事にて整備を行う。	

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
219,668	219,668	175,734	43,934	0

```

graph LR
    A[沖縄市  
219,668千円] --> B[委託費  
5,282千円]
    A --> C[工事請負費  
214,386千円]
    B --> B1[有限会社 アジア測建  
3,360千円  
(市道こどもの国北側線設計業務委託)]
    B --> B2[沖縄基礎 株式会社  
945千円  
(市道こどもの国線サイン整備工事実施設計)]
    B --> B3[有限会社 アジア測建  
200千円  
(市道こどもの国線照明灯設置工事実施設計)]
    B --> B4[有限会社 ソッケン  
420千円  
(横断防止柵設置及びサイン整備工等)]
    B --> B5[有限会社 ソッケン  
357千円  
(市道中央公園線サイン整備工事)]
    C --> C1[有限会社 幸地建設  
48,602千円  
(市道こどもの国線サイン整備工事)]
    C --> C2[有限会社 丸中土木  
42,444千円  
(市道こどもの国線防護柵設置工事)]
    C --> C3[株式会社 丸松建設  
67,408千円  
(市道こどもの国北側線防護柵設置工事)]
    C --> C4[有限会社 よろこび電化  
45,360千円  
(市道こどもの国線照明灯設置工事)]
    C --> C5[有限会社 日乃出建設  
10,572千円  
(市道中央公園線サイン等整備工事)]
  
```

市町村名		沖縄市					
平成 2 5 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-	沖縄こどもの国施設整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(2)-ア 個性豊かで魅力あふれる基幹都市圏の形成		
担当部課名	建設部 建築・公園課	事業実施(予定)年度	平成24～32年度	沖縄振興基本方針該当箇所	-3-(1)		
事業内容	沖縄県を代表する広域的な児童・青少年のための人材育成拠点である沖縄こどもの国の機能強化のため、動物園の充実を図るとともに、琉球弧動物展示施設整備を行う。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)	26年度
	予算の状況	(a)当初予算額	727,682	-	190,270	-	
		(b)予算現額	727,682	-	278,813	-	
		(c)増減額(b-a)	0	-	88,543	-	
		(d)繰越額	-	694,452	-	166,437	
		A.計(b+d)	727,682	694,452	278,813	166,437	
	B.執行済額		33,230	679,085	109,278	162,720	
	うち交付金充当額		569,851	543,267	61,278	156,319	
	次年度繰越額		694,452	0	166,437	0	
	執行率(%) (B/A)		4.6%	97.8%	39.2%	97.8%	
予算の状況の説明		琉球弧動物展示施設増築工事(2期)(建築工事)その2において、先に発注した隣接する工事の資材入手が全国的な駆け込み需要により、大幅に遅れたため、工期の延長を行った。そのため、関連する当該工事の搬入路の確保が困難となり工期に影響が生じたことから、工事費159,571千円及び監理業務委託費6,866千円を26年度に繰り越した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
	動物舎施設設計 1棟 琉球弧動物舎等施設工事 10棟	目 標	(実施設計第1期工事)	(動物舎施設設計 1棟 琉球弧動物舎等施設工事 10棟)	()	()	()
		実 績	実施設計第1期工事	動物舎施設設計 1棟 琉球弧動物舎等施設工事 10棟			
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	達成状況説明	動物舎施設設計1棟、琉球弧動物舎等施設工事10棟の目標に対し、沖縄こどもの国公園内のチンパンジー舎に係る実施設計及び琉球弧動物展示施設における鳥舎、資料展示室、猪舎(A・B)、豚・鶏舎、犬舎、山羊・牛舎、馬舎、馬具展示室、サーター車舎、うまんちゅ広場受付場(馬房含む)の建築工事、電気設備工事、機械設備工事を行い目標を達成した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	動物舎施設設計 1棟 琉球弧動物舎等施設工事 10棟	目 標	()	実施設計及び第1期工事	動物舎施設設計 1棟 琉球弧動物舎等施設工事 10棟	()	()
		実 績		実施設計及び第1期工事	動物舎施設設計 1棟 琉球弧動物舎等施設工事 10棟		
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	動物舎施設設計1棟、琉球弧動物舎等施設工事10棟の目標に対し、沖縄こどもの国公園内のチンパンジー舎に係る実施設計及び琉球弧動物展示施設における鳥舎、資料展示室、猪舎(A・B)、豚・鶏舎、犬舎、山羊・牛舎、馬舎、馬具展示室、サーター車舎、うまんちゅ広場受付場(馬房含む)の建築工事、電気設備工事、機械設備工事を行い目標を達成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) 【事業課題】 こどもたちの豊かな感性や人間性をはぐむ場の創出および文化の振興を図るとともに、観光資源として誘客を拡大していくためには、こどもの文化創造活動の支援の充実が必要である。 【推進上の問題】 先に発注した隣接する工事の資材入手が全国的な駆け込み需要により、大幅に遅れたため、工期の延長を行った。そのため、関連する当該工事の搬入路の確保が困難となり工期に影響が生じた。	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) 左欄の、当事業で解決しようとしている課題を踏まえ、動物園の充実を図るとともに、琉球弧動物展示施設整備を進めていくことから、資材の調達状況等、社会情勢の十分な把握や工事期間等も考慮して計画を立てる必要がある。
	今後の取り組み方針 当事業で解決しようとしている課題を踏まえ、動物園の充実を図るとともに、琉球弧動物展示施設整備を進めていくことから、資材の調達状況等、社会情勢の十分な把握や工事期間等も考慮して計画を立てて実施していく。	

[illegible]

市町村名	沖縄市						
平成 2 5 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	10-	コミュニティパーク整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-イ	
担当部署名	建設部 建築・公園課	事業実施(予定)年度	平成24～27年度		沖縄振興基本方針該当箇所	「スポーツアイランド沖縄」の形成	
事業内容	市民の健康増進の場を増やし、健康・長寿としてのイメージアップを図り、観光誘客に寄与できるような整備をおこなう。 また、都市公園事業として補助採択基準未済であるため、一括交付金にて整備をおこなう。						
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)	26年度
		(a)当初予算額	7,794	-	58,752	-	
		(b)予算現額	4,922	-	48,220	-	
		(c)増減額(b-a)	▲ 2,872	-	▲ 10,532	-	
		(d)繰越額	-	1,057	-	41,500	
	A. 計(b+d)		4,922	1,057	48,220	41,500	
	B. 執行済額		3,885	0	6,720	40,660	
	うち交付金充当額		3,108	0	5,376	32,528	
	次年度繰越額		1,057	0	41,500	0	
	執行率(%) (B/A)		78.9%	0.0%	13.9%	98.0%	
予算の状況の説明		(仮称)美東公園に係る修景施設及び造成高さについて、公園整備施工地区周辺の各自治会及び土地区画整理組合関係者との調整に不測の日数を要し、工事着手が当初の予定より大幅に遅れたため、工事費41,500千円を26年度に繰り越した。 また、若夏公園実施設計については、地域住民との調整により実施を見送ったため、予算を減額した。 不用額840千円については、委託料及び工事請負費の入札差額によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
	公園基本設計・実施設計 公園造成工事	目 標	(基本計画策定)	(公園基本設計・実施設計 公園造成工事)	()	()	
		実 績	基本計画策定	公園基本設計 公園造成工事			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
	達成状況説明	若夏公園に係る公園基本設計及び実施設計を行う予定であったが、地域住民との調整に不測の時間を要したため、基本設計のみ行った。 また、(仮称)美東公園における公園造成工事においては、花壇工事及び擁壁工事を行い目標を達成した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	園基本計画・実施設計 園造成工事	目 標	()	(基本計画策定)	(園基本計画・実施設計 園造成工事)	()	()
		実 績		基本計画策定	基本設計 公園造成工事		
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	若夏公園に係る公園基本設計及び実施設計を行う予定であったが、地域住民との調整に不測の時間を要したため、基本設計のみ行った。 また、(仮称)美東公園における公園造成工事においては、花壇工事及び擁壁工事を行い目標を達成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) 市民の健康づくりや地域コミュニティ等を促進するため、地域と意見交換を行い基本計画に反映させたが、基本設計前に新たな意見、要望等があったことから、基本設計においてより多くの時間を設ける必要があった。 また、公園全体の磁気探査業務を含め発注した花壇整備工事において、磁気異常が多数確認されたため、本工事とは別に確認探査業務を発注する必要が生じ、その調査に不測の日数を要した。	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) 基本計画策定時及び実施設計前の適切な時期に地域との意見交換等や、関係機関との調整を充分に行い、事業を執行する。
	今後の取り組み方針 健康・長寿は沖縄観光のイメージアップにもつながる重要な要素であることから、地域と連携し、市民に運動習慣の継続を促すことで健康志向を高め、健康・長寿に寄与する。 平成27年度の主な取り組み内容として、若夏公園においては、管理棟に係る設計及び多目的コートの整備を行い、(仮称)美東公園においては、遊具や管理事務所等に係る公園整備工事を行っていく。	

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
6,720	6,720	5,376	1,344	0

```

graph LR
    A[沖縄市  
47,380千円] --> B[委託費  
17,356千円]
    A --> C[工事費  
30,024千円]
    B --> D[有限会社 MUI計画  
6,720千円]
    B --> E[有限会社 基技研  
10,636千円]
    C --> F[有限会社 グリーンス  
タッフ 15,120千円]
    C --> G[株式会社 重村組  
14,904千円]
    D --- H["(若夏公園基本設計業務委託)"]
    E --- I["(仮称)美東公園確認探査業務委"]
    F --- J["(仮称)美東公園施設整備工事  
(その1)"]
    G --- K["(仮称)美東公園施設整備工事  
(その2)"]
    H --- L[基本設計]
    I --- M[確認探査]
    J --- N[花壇整備]
    K --- O[擁壁工事]
                    
```

資金の 使途の 流れ、 費目、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
資金の 使途の 流れ、 費目、 評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○ 予算規模については適正な規模であったと考えている。 ○ 費目・使途について事業目的達成の観点から必要なもののか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	沖縄市						
平成 2 5 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	12-	里道および水路の境界確定復元事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(5)-イ	
担当部課名	建設部 道路課 建設部 下水道課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	戦後処理問題の解決 -12-(1)	
事業内容	戦後の米軍統治下の影響による不明確な里道および水路の位置を確定するため、境界の確定測量および復元作業をおこなう。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)	26年度
	予算の状況	(a)当初予算額	112,923	-	84,200	-	
		(b)予算現額	109,270	-	84,200	-	
		(c)増減額(b-a)	▲ 3,653	-	0	-	
		(d)繰越額	-	109,270		42,157	
		A.計(b+d)	109,270	109,270	84,200	42,157	
	B.執行済額		0	109,229	42,033	40,973	
	うち交付金充当額		0	87,382	33,626	32,778	
	次年度繰越額		0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		0.0%	100.0%	49.9%	97.2%	
予算の状況の説明		測量業務の境界立会について、計画していた事業内容は適正に実施できた。 平成25年度は、水路境界確定復元事業の測量業務の境界立ち会いにおいて、隣接土地所有者等との境界確認に不測の時間を要したため、4件の委託業務(40,973千円)を繰越した。 不用額1,194千円は、委託料の入札残である。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	計画策定及び発注100力所 用地交渉 100力所 台帳整備 100力所	目 標	(100箇所)	(100箇所)	()	()	
		実 績	(里道)90箇所	101箇所			
		目 標	((水路)境界確定測量実施)	()	()	()	
		実 績	(水路)境界確定測量実施				
達成状況説明	活動目標100箇所に対し、里道の境界確定及び復元作業を51箇所、水路の境界確定及び復元作業50箇所の合計101箇所を実施し目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	計画策定及び発注100力所 用地交渉 100力所 台帳整備 100力所	目 標	()	(100箇所)	(100箇所)	()	()
		実 績		90箇所	101箇所		
		目 標	()	((水路)境界確定測量実施)	()	()	()
		実 績		(水路)境界確定測量実施			
	進捗状況説明	境界が不明確な里道については境界確定及び復元作業を51箇所実施した。 境界が不明確な水路については境界確定及び復元作業を50箇所実施した。 里道及び水路について、合わせて101箇所の境界確定復元事業を実施できたことから、目標を達成できた。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化) ・戦後の米軍統治下の影響によって長期間境界が不明確になっていた為、復元にあたっては住民等(隣接土地所有者等)の理解を得る事が困難であった。 ・長期間境界が不明確であったため、現況と水路境界に相違が見られる箇所も多数あり、得られた成果を精査した上で、健全な土地利用に向けた適正な対応方法について検討する必要がある。	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点) ・住民等(隣接土地所有者等)に対して、里道・水路の境界確定復元事業の理解を得る為の説明方法を検討する。 ・事業の実施にあたっては、事前に当該自治会へ事業について説明を行い、地域の理解・協力も得ながら事業を進めていけるように努める。 ・境界確定後、現況と水路境界に相違が見られる箇所に対して、健全な土地利用に向けた適正な手続き手法(土地の付替え手続、水路敷きの占用・使用許可申請、公有財産の売り払い等)について検討を行い、権利関係者と相互理解を図りながら推し進めていく必要がある。
	今後の取り組み方針 ・本事業について、住民等(隣接土地所有者等)からの理解を得るための説明を書面等にて行うなど、説明方法について改善を行い境界確定復元作業を引き続き実施していく。 ・里道・水路境界確定復元事業の実施にあたっては、事前に当該自治会へ事業について説明を行い、地域の理解・協力を得られるようにする。 ・これまで、水路敷きの隣接土地所有者に対して、現況確認を行いながら、口頭による説明を行っていたが、事業について理解を得やすくするための説明資料を作成し、事前説明を行った上で、現況確認、口頭による説明を行えるように工夫していく。 ・現況と里道・水路境界に相違が見られる箇所に対して、健全な土地利用が図れるように、適正な手続き手法を確立し、権利関係者へ周知・説明を行いながら調整を行っていく。	

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
83,006	83,006	66,404	16,602	0

```

            graph LR
                A[沖縄市  
83,006千円] --> B[委託料  
34,190千円]
                A --> C[委託料  
48,816千円]
                B --> D[比嘉登記測量事務所  
8,884千円]
                B --> E[島袋土地家屋調査士事務所  
7,245千円]
                B --> F[中部測量事務所  
7,140千円]
                B --> G[宮城安雄事務所  
6,405千円]
                B --> H[花城土地家屋調査士事務所  
4,515千円]
                C --> I[株式会社 沖縄計測  
13,392千円]
                C --> J[有限会社 精巧エンジニアリング  
14,580千円]
                C --> K[株式会社 協進設計  
7,344千円]
                C --> L[有限会社 開成実業  
14,580千円]
                
```

沖縄市 83,006千円

- 委託料 34,190千円**
 - 比嘉登記測量事務所 8,884千円 (法定外公共物(里道)の境界確定復元事業業務委託務)
 - 島袋土地家屋調査士事務所 7,245千円 (法定外公共物(里道)の境界確定復元事業業務委託務)
 - 中部測量事務所 7,140千円 (法定外公共物(里道)の境界確定復元事業業務委託務)
 - 宮城安雄事務所 6,405千円 (法定外公共物(里道)の境界確定復元事業業務委託務)
 - 花城土地家屋調査士事務所 4,515千円 (法定外公共物(里道)の境界確定復元事業業務委託務)
- 委託料 48,816千円**
 - 株式会社 沖縄計測 13,392千円 (法定外公共物(水路)の境界確定復元事業業務委託務)
 - 有限会社 精巧エンジニアリング 14,580千円 (法定外公共物(水路)の境界確定復元事業業務委託務)
 - 株式会社 協進設計 7,344千円 (法定外公共物(水路)の境界確定復元事業業務委託務)
 - 有限会社 開成実業 14,580千円 (法定外公共物(水路)の境界確定復元事業業務委託務)

	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
資金の流れ、費目、使途の点検評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 委託業者は競争入札により選定しており、妥当な選定方法であったと考えている。 ○ 委託業務費の積算については、積算歩掛け等により適正に行っている。 ○ 費目・使途については、委託業務完了後に支出等に関する書面により確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	